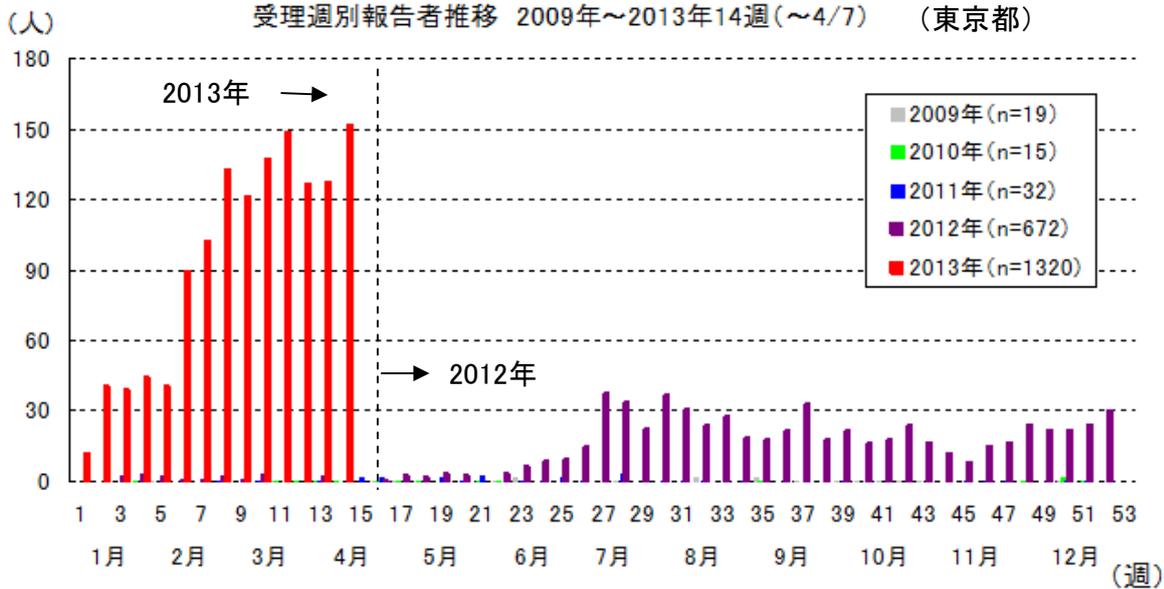


# 風しんに要注意!



\* 関東、関西の都市部で流行がみられます。地域性がありますが、感染予防を心がけましょう。

**【症状】**

- ・赤い発疹(全身)
- ・発熱
- ・リンパ節の腫れ (耳後部や首すじ)
- ・関節痛

**【感染経路】**

- ・飛沫感染
- ・接触感染

**【潜伏期間】**  
2～3週間

**【先天性風しん症候群】**  
妊娠初期にかかると、お腹の赤ちゃんが感染し、心臓の病気や、目や耳に障害を生じることがある。特に妊娠12週までは、先天性風しん症候群の危険性が高い。



## ブライダル記念に風しんワクチンの予防接種を!

- 妊娠したら予防接種が受けられません。過去に風しんにかかったことがない人は妊娠前に夫婦で予防接種を受けましょう。(接種費用は自己負担となります。)
- 抗体価の検査をしなくても、ワクチンの接種はできます。(仮に抗体がある人がワクチンを接種した場合は、抗体の強化が期待できます。)
- 予防接種を受けた後は、**2ヶ月間、避妊が必要**です。
- 現在、妊娠中の場合は、同居家族など、周囲の人が予防接種を受けましょう。また、妊婦健診の風しん抗体価の結果を主治医に確認し、陰性または低抗体価だった場合(一般に、HI抗体価が16倍以下)は、出産後に予防接種を受けましょう。
- 人ごみを避け、外出時の手洗い、うがい、咳エチケットを励行しましょう。

問い合わせ先

○予防接種について  
健康福祉部 健康増進課 TEL 053-453-6119

○風しんの流行状況や病気について  
健康福祉部 保健予防課 TEL 053-453-6118

